

令和3年度 中学校「学習評価・計画表」 教科【技術】 学年【1年】 担当 長谷川 剛

知 知識・技能
思 思考・判断・表現
態 主体的に学習に取り組む態度

月	単元	学習内容	観点	評価規準(B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面 時期
4・5・6月	材料と加工の技術	・身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイディアを調べ、発表する。	知			定期テスト ワークノート 提出物
			思			
			態	・身近な機械や電気機器に利用している物質やエネルギーのちがい、そこで利用されている情報関係の技術について調べようとしている。	・身近な機械や電気機器に利用されている物質、エネルギー、制御する情報関係の技術を関連づけて調べようとしている。	
		・身の回りの製品に使われている材料と加工の技術について調べ、なぜその材料と加工の技術が使われているか知る。	知			
			思			
			態	・主体的に材料と加工の技術について考えようとしている	・加工技術や情報技術などの発達と生活用具および職場環境に与えた影響について、その技術があつた場合となかった場合と関連づけて説明できる。	
		・木材、金属、プラスチックの特性について調べ、それらの材料が、どのような製品に利用されているかをまとめる。	知	・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。	・身の回りで異なる材料で作られた製品の例をあげ、材料の違いや特徴を調べようとしている。	
			思			
			態			
7・8・9月	材料と加工の技術	・材料に適した加工方法について理解し、工具や機器を安全に使用する方法や技術室の安全のための決まりを調べ、簡単な加工体験を行う。	知	・目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。	・製作に使用する工具及び機器を選択し材料と関連づけて適切な使用方法を調べようとしている。	定期テスト ワークノート 提出物
			思			
			態			
		・製作に必要な図を基に、部品表、材料取り図を作成し、製作に必要な材料を準備する。	知			
			思	・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。	・製作品の構想に、自分からいろいろな情報を集め、使用目的や使用条件を満足する必要事項をまとめ、製作品の特徴として説明しようとしている。	
			態			
		・工程ごとに使用する工具や機器を調べる。	知			
			思			
			態	・材料に適した基礎的な加工法に関する知識を身につけ、説明できる。	・製作する作品の完成するまでの作業工程や使用工具・機器を一覧表にまとめることができる。	
			知			
			思			
			態			
			知			
			思			
			態			